

京陽 P T A だより

— 第 1 号 —
令和 2 年 7 月 2 9 日 発行
発行責任者 外川 公太
担 当 者 書 記

* 第 1 回 実行委員会報告 < 7 月 1 7 日 (金) 1 8 時より開催 > *

◇ 全体会 ◇

一、開会のことば

一、会長あいさつ

各実行委員長の皆様、青木校長先生、根本副校長先生、ご多用のところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

今年は梅雨がなかなか明けず、子どもたちもストレスがたまっているかもしれません。

こんなお足元の悪い中、実行委員会にご出席くださいまして、あらためてお礼申し上げます。

今年は、新型コロナウイルスの影響で、こんな時期になりようやく第 1 回の実行委員会を開催することができました。何がどこまでできるのか、なかなかわからない一年になると思いますが、みなさま、どうぞ一年間よろしく願いいたします。

一、校長あいさつ

皆様、こんばんは。

感染症拡大の影響で様々なことが例年と違うことが続いている中、このところは Z O O M を活用したオンライン保護者会にもご協力いただき、ありがとうございます。画面にたくさん並んだ保護者の皆様のお顔。じっとしてくださっていることが画面越しにも伝わってきて、とても緊張しています。何度やっても、慣れません。

実は学校では、Y o u T u b e 動画も作成できるようになっています。

(少し話が飛ぶようですが、かれこれ 1 0 年ほど前から、子どもたちに“将来の夢”を聞くと、ユーチューバーという答えがちらほら聞かれるようになり、びっくりすると同時に戸惑いを覚えたものです。けれども今や、ユーチューバーに戸惑う社会ではなくなっていることに、変化の速さを感じています。)

さて、その Y o u T u b e 動画の作成に、学校も様々取り組んでいます。けれども、残念ながらまだ 1 本も保護者の皆様に公開出来ていません。いろいろ作成する中で、動画を公開することの難しさに、改めて直面しているからです。学習の様子を撮影してそれを後から確認すると、例えば画像に映った子どもたちのちょっとした様子、画面の隅に映り込んだ新聞紙の見出しの言葉・・・etc. 思わぬものが気にかかります。これをご覧になった皆さんはどう思うかしら？と考へ、何度も撮り直すことになり、でもその度にまた課題が見つかってしまうのです。正に試行錯誤の連続です。

“困難の多い変化の激しい社会” になっていくのだと漠然とは思っていたのですが、この感染症の登場により、それが一気に現実のものとなりました。

子どもたちとともに、“できることを一生懸命に追求する” ことを大切にしながら進んでまいりましょう。

よろしく願いいたします。

一、新委員自己紹介・各委員会活動報告（委員会活動方針・年間予定）

一、実行委員会についての説明

- * 代理出席について・活動ファイル作成について

一、連絡封筒について

一、会計処理上の諸注意

- * コピー機について
- * 支出明細書の記入方法について

一、予算草案の承認

一、その他

- * 五月総会について
- * USBメモリーの使用について
- * PTA室の使用、印刷物作成・配布について

一、副校長あいさつ

お忙しい中、遅い時間までご参加いただき、ありがとうございました。

今まで「これからの社会は変わる。」と言いつづけてきました。でも、実際のところは、大きな社会変革はなく、前年踏襲で行えることが多かったと思います。それが、今年に関しては、驚くべき変化が日々起きています。この変化に対応するには、相当なパワーが必要だと感じています。

学校について考えると、「できないからやめる」ことは簡単です。しかし、大切なのは「今の状況では何ができるか。」と追及することだと思います。子どものためになること、学校だからこそできることは何だろうか、我々教員は日々考えております。

授業で学んで終わりではなく、理解した知識や身に付けた力を使って、将来好きな進路を選択したり、夢をつかんだりできるような子どもを育てたいです。ぜひ、子どもたちの成長の場としての学校運営に、今後ともご協力をお願いします。

一、閉会のことば

☆☆☆ 今後の予定 ☆☆☆

第2回実行委員会 9月25日（金）18時～

名札の着用 ※ マイスリッパ持参 ※ 自転車での来校禁止